



農林中央金庫



九州西濃運輸株式会社



2025年3月19日
バイオパーク株式会社
九州西濃運輸株式会社
JA 島原雲仙
農林中央金庫

九州西濃運輸株式会社と連携した廃棄野菜の有効活用について (持続可能な地域農業支援・生産者所得向上の取組み) ～地産地消のアナザーストーリー～

バイオパーク株式会社と JA 島原雲仙は、従来より生産過程で発生する廃棄野菜の有効活用に向けた取組みを進めていますが、今回、農林中央金庫長崎支店の紹介のもと、九州西濃運輸株式会社（以下「九州西濃運輸」）の支援を受けて、その取組みを拡大することになりました。

バイオパークが運営する「長崎バイオパーク」は、「見ているだけではつまらない！遊んで、学んで、ふれあって。」をコンセプトとした動植物園で、1980年の開園以来、多くの来園者に親しまれてきました。しかし、近年、動物たちの餌代が上昇しており、動物たちの健康を守るためには、安価で安心・安全な食事を安定的に確保することが課題となっています。これまで、農林中央金庫長崎支店の紹介を受けて JA 島原雲仙管内の株式会社酒井農園で発生した廃棄人参をバイオパークへ運搬する取組みを進めてきましたが（2024年1月19日付プレスリリース「廃棄人参の有効活用について」は本リリース下部の URL より参照）、輸送回数や輸送量に制限があるという課題がありました。

今回、この取組みに注目していた九州西濃運輸から、農林中央金庫長崎支店を通じて輸送支援の申し出がありました。これにより、九州西濃運輸の輸送ネットワークや物流ノウハウを活用して輸送回数の増加を実現し（3回/年から40回/年へ）、従来の廃棄人参に加え、新たに廃棄ブロッコリーを取り扱うことになりました。本取組みにより、これらの課題を解決できる見込みです。

九州西濃運輸はセイノーホールディングス株式会社のグループ会社であり、九州全域に強固な輸送ネットワークを展開する総合物流企業です。同社は物流ノウハウを活用した最適な物流設計を通じて、お客様のサプライチェーン全体の効率化を実現し、お客様の繁栄に貢献しています。今回の取組みに参画し、輸送部分を担うことで、社会や地域が抱える課題の解決に貢献して参ります。

JA 島原雲仙管内では、熱意ある生産者の絶え間ない努力により、近年、人参や馬鈴薯、いちご、ブロッコリーの生産量が増加し、安心・安全な県産野菜を多くの方に親しんでいただいています。一方で、生産過程では規格外品も発生し、生産者が愛情を込めて作った野菜の一部が廃棄されるという課題があります。今回の取組み拡大を通じて、廃棄予定の野菜に商品価値が生まれ、これまで費用をかけて廃棄していた規格外品が有効利用される一連の流れが加速することで、生産者の所得向上が期待されます。

農林中央金庫は、「持てるすべてを『いのち』に向けて。～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～」というパーパス（私たちの存在意義）を定めており、農業者と消費者・産業界をつなぐ「架け橋」となることを目指しています。本取組みは、バイオパーク・JA 島原雲仙の課題解決を通じて、SDGs の社会課題「2. 飢餓をゼロに」「12. つくる責任、つかう責任」の解決にも寄与するものと考えております。

以上

■ 関連プレスリリース

- ✓ 廃棄人参の有効活用について（持続可能な地域農業支援・生産者所得向上の取組み）
（2024年1月19日）

https://www.nochubank.or.jp/news/branch_news_release/2024/post-194.html

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 長崎支店 営業第一班（北村・本山） 095-827-3114